

平成20年7月22日

構造用合板の現状（迫られる国産材への変更）

ロシアから松（ラーチ）の現地での原木出材量の減少及び原木価格上昇のため6月上旬より原木が入荷しておらず、各合板メーカーは、国産の杉・桧・道産唐松他いろいろな針葉樹を買い集めて生産を行っている状況です。そのため、今までは合板の表・裏の単板がラーチ100%だったのですが、最近入荷しました合板を見ると、同じ梱包内で「構造用針葉樹合板」として、合板の表・裏が杉、桧、ラーチとランダムに混入されております。

各メーカーに問い合わせたところ、今後各メーカーとも同条件にて納入され、ラーチ100%は全く望めないとの回答が来ております。

従いまして、今後弊社からの納入に関しまして、異樹種混合した合板が納入される可能性が非常に高いと思われますので、ご理解頂きますようお願い申し上げます。

ヨドプレ株式会社